

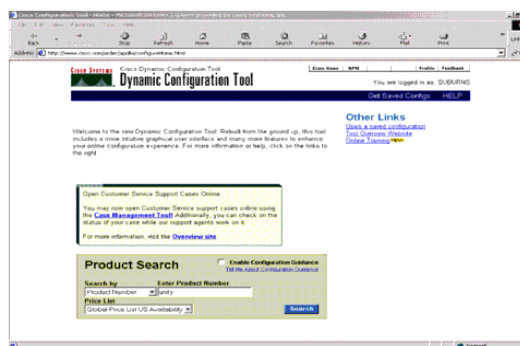
## Cisco Unity 4.0 のオーダー ガイドライン

Cisco Unity の製品体系はさまざまな発注に柔軟に対応できるように設定されています。Cisco Unity 4.0 は、ソフトウェアのみを発注することも、システム全体を構築するために必要なすべてのコンポーネント（サーバや音声ボードなど）と合わせて発注することもできます。ソフトウェアのみのオプションには Windows 2000 は含まれていません。お客様の側で、Windows 2000 が搭載されたサーバをご用意ください。Cisco Unity がサポートされているプラットフォームのリストについては、[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products\\_data\\_sheet09186a008009267e.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheet09186a008009267e.html) の「Cisco Unity Supported Platforms List」を参照してください。

### Dynamic Configuration Tool の使用

1. <http://www.cisco.com/order/apollo/configureHome.html> で Dynamic Configuration Tool を開きます。
2. Dynamic Configuration Tool の開始ページで製品番号による検索を選択し、「Unity」と入力します（図 1 を参照）。

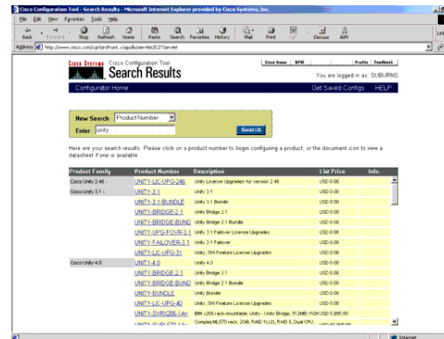
図 1 : Dynamic Configuration Tool の開始ページ





3. 図 2 のように、最初の Cisco Unity 画面が表示されます。

図 2 : 最初の Cisco Unity 構成画面



4. 最上位の製品番号から次のいずれかを選択します。

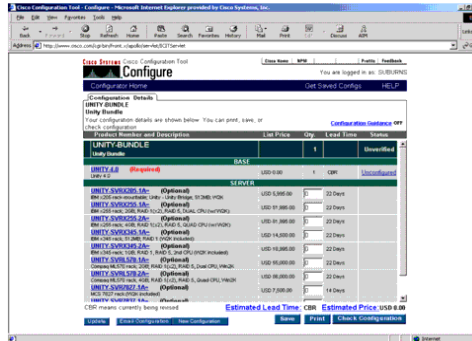
- UNITY-LIC-UPG-246 : 既存の Cisco Unity 2.4.6 システムに対して追加の機能を購入する場合。
- UNITY-3.1 : Cisco Unity 3.1 ソフトウェアを新規に購入する場合。サーバも合わせて発注する場合は、UNITY-3.1-BUNDLE を選択します。
- UNITY-3.1-BUNDLE : Cisco Unity 3.1 をサーバまたは Failover (あるいはその両方) とともに購入する場合。
- UNITY-4.0 : Cisco Unity 4.0 または Failover ソフトウェア (あるいはその両方) を新規に購入する場合。サーバも合わせて発注する場合は、UNITY-BUNDLE を選択します。
- UNITY-BUNDLE : Cisco Unity 4.0 をサーバとともに購入する場合。
- UNITY-LIC-UPG-40 : 既存の Cisco Unity 4.0 システムに対して追加の機能を購入する場合。
- UNITY-UPG-FOVR-3.1 : 既存の Failover システムに対して追加の機能を購入する場合。
- UNITY-FAILOVER-3.1 : Cisco Unity 3.1 用の Failover ソフトウェアを購入する場合。サーバも合わせて発注する場合は、UNITY-3.1-BUNDLE を選択します。
- UNITY-LIC-UPG-31 : 既存の Cisco Unity 3.1 システムに対して追加の機能を購入する場合。

Cisco Unity 製品は構成可能な製品であるため、最上位では表示価格がすべて 0 になっています。最上位の製品を選択すると、その後の画面に価格とオプションが表示されます。

5. Unity 4.0 システムを新規に発注する場合は、UNITY-BUNDLE という最上位品目を選択します。UNITY-BUNDLE を選択した場合の最初の画面を図 3 に示します。

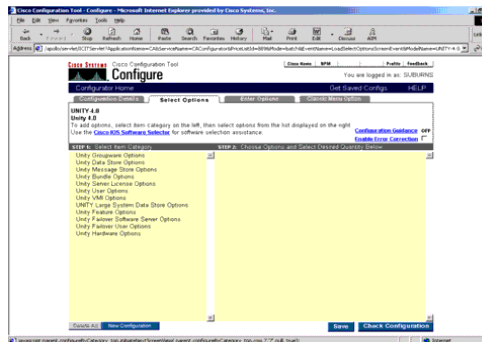


図 3 : 「Configuration Details」 画面



6. Unity ソフトウェアの構成を選択するには、「Unity-4.0」リンクをクリックします。次の構成画面（図 4）が表示されます。

図 4 : Unity 4.0 オプション画面

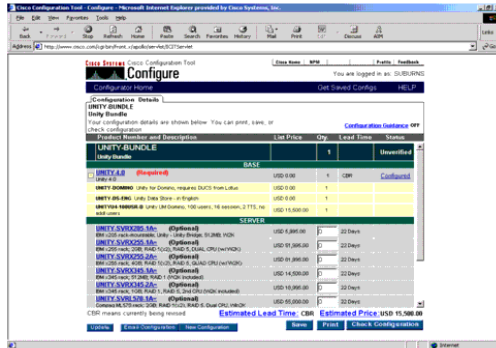


7. 品目の選択には、2つのステップがあります。まず、左の列にあるカテゴリをクリックしてオプションを選択します。そのカテゴリに属する品目が右側に表示されます。次に、オプションと数量を選択します。

8. 選択が完了したら、「Check Configuration」ボックスをクリックします。両立しないオプションを選択した場合は、エラーメッセージが表示されます。構成チェックに合格したら、メインの Unity バンドル画面（図 5）に戻ります。「Unity-4.0」のステータスが「Configured」に変わり、選択したオプション品目がリストされています。



図 5 : Unity 4.0 バンドル構成済み画面



### Cisco Unity を発注する際のクイック ヒント

**グループウェア オプション :** グループウェアとして、Microsoft Exchange と Lotus Domino/Notes のどちらを使用するかを選択します。

**データ ストア オプション :** データ ストア オプションは、Unity システムを新規に構成する場合に必要となります。これは MSDE/SQL データベース コンポーネントです。Unity 4.0 では、データ ストアに対して英語、ドイツ語、および日本語へのローカライズが提供されています。フランス語も近々提供される予定です。

**メッセージストア オプション :** メッセージストア オプションは、Exchange システムに新規の Unity システムを構成する場合に必要です。このオプションは、英語、フランス語、ドイツ語、および日本語の 4 言語で使用できます。このオプションは Domino システムでは選択できません。

**バンドル オプション :** バンドル オプションは小規模なシステムでのみ使用できます。各バンドルには 16 セッションのライセンスが含まれており、50 ~ 300 ユーザに対応します。これらのオプションは、Exchange または Lotus Domino/Notes による音声メッセージング / 交換とユニファイド メッセージングに使用できます。バンドルにはソフトウェア メディアが含まれますが、ディストリビュータからの注文の場合、メディアは含まれません。ディストリビュータはメディアを別途発注する必要があります。初回発注時には、これらのバンドル品目に対して追加ユーザを追加できません。ユーザまたは機能の追加は、後でアップグレード注文を通じて行うことができます。

**サーバライセンス オプション :** Unity 4.0 システムは、バンドル オプション、またはサーバライセンス オプションとユーザライセンス オプションの組み合わせのどちらかで構成されています。サーバライセンスには、32 と MAX (現時点では 72 ポート) の 2 種類があります。サーバライセンス オプションを発注するときは、ユーザ オプションも選択する必要があります。お客様が何ポート設定するかにかかわらず、どの 4.0 システムにも、16 (バンドルの場合)、32、または 72 のいずれかのポート サイズに設定されたソフトウェアセキュリティライセンス ファイルが含まれています。















